

離任される先生方からの言葉

「真の文武両道」を目指して頑張れ

by 福田雅子校長先生



発行
長崎県立西陵高等学校
新聞部
部員

〔2年生〕
川崎和音・菅海光
渋谷如那・藤田倅奈
渡海楓果・山口陽香
荒島美鈴・高森心優嘉
牧野咲花・丸亀有莉乃
弥永佑泉・山口菜々子

〔1年生〕
陣野斗哉・小松葉子
林真心・山口紗耶
吉岡咲良・金子嘉凛
原田颯海・甲斐伶奈
木下兆太・山下柚乃

離任式が3月24日に行われ、今年度は12名の先生方が西陵高校を後にした。式では、先生方一人ひとりが西陵高校へ、の思いを振り返り、メッセージを送った。

西陵高校での思い出は、皆さんと笑い合ったこと、喜び合ったこと、叱られたこと、等々。高3生活3年間、目の前のすべてに全力で取り組み、自分の人生、強く、優しく、生きていく。



嶋藤 奈央先生
(数学科)

毎朝、爽やかな挨拶を返してくる皆さん、ありがとうございます。西陵を謳歌する皆さんが、それぞれの道を、目指すことを応援しています。



福田 雅子校長先生
(数学科)

年々、世の中は変わってきています。毎日の生活、仕事、勉強、すべてに力を入れて、自分自身を成長させてください。



今田 晴美先生
(看護教諭)



片山 和徳先生
(数学科)

この3年間、多くの生徒の成長を聞いてきました。一緒に笑い、一緒に泣き、一緒に頑張った思い出が、これから生きていく上で、大きな力になると思います。

高尾源之介先生
(英語科)



3年間、あっという間に過ぎました。朝から晩まで、元気に過ごした日々が、これから生きていく上で、大きな力になると思います。

梅津隆行先生
(数学科)



西陵高校には、通算22年お世話になりました。この間、多くの生徒の成長を聞いてきました。一緒に笑い、一緒に泣き、一緒に頑張った思い出が、これから生きていく上で、大きな力になると思います。

古川 功二先生
(主事)

西陵高校で定年退職を迎え、本年度に再び勤務を終了することになりました。長い間、西陵高校で勤務することができ、多くの生徒の成長を witness することができ、大変な仕事でしたが、やりがいを感じていました。

森 雅俊先生
(数学科)



爽やかな生徒が多い学校で、勉強だけでなく、生活のあらゆる面で、先生方から教わることが多くありました。西陵高校で過ごす3年間は、本当に貴重な経験でした。

小森 孝幸先生
(主任主事)



1年の西陵高校生活、大変な仕事でしたが、やりがいを感じていました。西陵高校で過ごす3年間は、本当に貴重な経験でした。

森 彰先生
(理科)



永池 秀明先生
(理科)



離任式で、北方領土の話をしました。一人でも興味を持って、自分自身で調べ、誰かに教えてもらうものではなく、自分で考えて出すものです。西陵生、活躍を期待しています。

中村 宏平先生
(主幹事務長)



2年間、大変な仕事でしたが、やりがいを感じていました。西陵高校で過ごす3年間は、本当に貴重な経験でした。

すべての人に**“選べるよろこび”**を

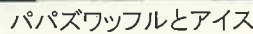
■乳・卵・小麦不使用な
ストレスフリースイーツ
をつくろうと思ったきっ
かけ
例えば、コンビニにお

昼ご飯を買いに行くとき、食物アレルギーがある方は食べたいものから選ぶのではなくて、食べられないものから選ばなければならぬ。本来は好きなものを選ぶ中で、全部消去法で選ばないといけないというのがすごくストレスなのではと思っていて。そのストレスがかららない商品をつくりたいと思った。

こと
①乳・卵・牛乳を使わな
いこと。
②見た時におもしろいと
思ってもううこと。
乳・卵・小麦を使わな
い。スィーツを作るのは選
択肢がかなりしぼられ
るが、特徴がでるように
気を付けている。また、
アレルギーなどで食べら
れるものが限られている
人も、アレルギーがなく
ても何でも食べられる人
も、「これおいしそう」「写
真を撮りたい」と楽しく
過ごす体験をみんなにし
てほしいと思っている。

■今までカフェを運営し
てきて嬉しかったこと
妹さんがアレルギーを持
つている兄妹が、このお
店のスイーツであれば聞
いて来店された。お兄さ

もちもち食感が
クセになる
パパズワッフル



ないもの、妹さんが食べられ
 ないものは我慢して食べ
 ないようにしていたそう
 だ。2人一緒のものが食
 べられるとワイワイ言
 ながらすぐ嬉しうに
 選んでいた姿がとても印
 象的だった。仕事のやり
 がいを感じた。

■店名について
 “パパズ”は父親による
 “パフ”は店のワッフル
 ルミtainな空洞がある丸

「ホニホニしているもの」のスタンダードは飲食店の椅子に座るような空間ではなく、気軽に空いて食べ歩けるような空間にしたいという田口さんのお店やお客様に対する思いが込められている。

■高校生に向けて
高校生活は大人と子供の狭間にいて将来どうするか迷う時期だが、やりたいうことを考えて方向性

(編集後記)
 アレルギーを持っていて食べられるものに限られてる人も、何でも食べられる人も、楽しんでもらいたいという考え方がとても素敵だと思った。
 私自身も困っている人のために動ける人間になりたいと思った。そのためにもいろんなことに挑戦して、見聞を広めていきたい。
 (林)

を済めるのは正直難しいと思う。だから、見分を広める動きをするといっているんだことに恐れずに首突っ込んでいって、見聞を広めてほしい。それがどこかのタイミングで繋がりが、何かやりたいことに繋がったりするんじゃないか。そういうことを怖がらずに挑戦していい。てほしい。

乳・卵・小麦不使用
” ストレスフリーフード ” を届ける



パズパフスタンドの田口さん。ストレスフリーフードについて語る。



株式会社ALL 取材



ペーパーレス化について語る白水さん

ペーパーレスで環境保全
学校でも取り組めるのか

し、システムの販売おろ
し、取り引きのコン
してコスト削減のコン
サルティポイント、国の補
助金のサポートなど
行っている株式会社A
L。管理部門部長であ
る白水菜摘さんを材
つ、ペーパーレス化に
ついて伺った。

約手続き、顧客への文書社員への支援につながるもの全般だ。大変だったことは、資料をデジタル化する機能が備わっているツールを導入するコストがかかったこと。しかし、かなり効率が上がったので、うまく活用できていると思う。

■ペーパーレス化のきっかけ
2022年に流行した新型コロナウイルスによるテレワークの増加を機に、資料をデータ化した。それまでは資料を紙で保存していたため、業務に必要なものを事務所に来ないと確認できないという非効率な仕事をしていた。ペーパーレス化したのは大きく分けて4つ。社内決済、契

の強化、学習体験（ラーナーエクスペリエンス）の向上がメリットとして挙げられる。情報共有がしやすくなるため、授業内容を生徒に改めてグループワークツール（Teamup など）で配信することで生徒は理解するまで繰り返し学習することができる。授業など、対面では発言しにくい生徒もグループワークツールを通して自分の意見を伝えたり、先生に質問できるようになる。このような環境を作ることによって、生徒一人ひとりの学びに対する意欲が高まり、学

■西陵生に向けて
 ピューターがどんなコン
 展していくと思う。最近
 ではテストの結果も紙で
 返却せず、データとして
 返却する高校も増えてき
 ない。時がくれば、紙を使
 化も進んで、地球温暖
 界でもさまざまな問題が
 メディアに取り上げられ
 している。この温暖化を少
 しでも止めるためには、
 一人ひとりのペーパーレ
 ス化への取り組みを意識
 する。行くっていく必要が
 (小松)

校全体でも学びに對する意欲が高くなる。先生と生徒だけでなく、生徒同士でもわからない問題を教え合うというコミュニケーションが生まれる。また、紙は森林資源を元に加工して作られている。世界中で過剰な森林伐採が行われ、地球温暖化が深刻な状況になっている。そのため、紙を削減することは、確実に環境保全につながる。ことがメリツトだと思う。